



**古滝明音議長**

次に、愛・うつのみや部会 17番 若松原中学校2年 平山泰士さん、18番 宮の原中学校2年 竹澤友理さん、19番 陽西中学校2年 高橋那由歩さん、20番 宇都宮海星女子学院中学校 恒屋梢海さん。

**17番 平山泰士議員**

議長，17番

**18番 竹澤友理議員**

議長，18番

**19番 高橋那由歩議員**

議長，19番

**20番 恒屋梢海議員**

議長，20番

[ 17番 平山泰士議員，18番 竹澤友理議員，19番 高橋那由歩議員，  
20番 恒屋梢海議員 登壇]

## 18番 竹澤友理議員, 19番 高橋那由歩議員

18番, 宮の原中学校の竹澤友理です。

19番, 陽西中学校の高橋那由歩です。

私たちは, 小中一貫教育制度について調べました。そして, 2つの提案をいたします。

本市では, 小中学校の9年間を一体的にとらえた教育を行うため, モデル地域となっている6地域学校園で平成22年度から, その他の学校園では平成24年度から小中一貫教育制度が実施されます。小中一貫教育とは, 心豊かでたくましい人格を育成し, 基礎学力の定着や, 体力向上を目指し, また, 中1ギャップなどの人間関係により起こる問題を解決し, 学校生活に適用させるというものです。しかし, ほとんどの小中学生がこれらの具体的な内容を詳しく知らず, 小中一貫教育を行うことによって, どのようなメリットがあるのか, また, 現在の状況からどのように変わるのかを理解するための十分な情報がありません。

そこで, 小中学生向けの説明会を開き, 「広報誌きずな」という現在教員用に教育委員会が発行している資料を, 小中学生用に作り換えて配布することを提案いたします。そうすることによって, 児童生徒が, 小中一貫教育制度のよさを理解し, 主体的に学ぶことができると考えます。

次に, 地域の方々とはふれ合いながら学ぶ「地域科」のような教科の導入について提案いたします。

小中一貫教育制度が実施されるにあたり, 日本語と英語によるコミュニケーション能力を, 体験を通して学習するための「会話科」という教科が新設されます。しかし, 授業ではうまく会話ができて, 実生活に活用できなければ意味がありません。そこで, 実際に身近な地域の人々と交流する機会を設けて, 小中学生が実践的にコミュニケーション能力を高める必要があると考え, 新しく「地域科」のような教科を導入することを提案いたします。

具体的には, 地域の大人の人たちと郷土料理を作ったり, 農業体験を行ったり, 学校でのキャンプや子どもが企画する文化祭の様なものと考えられます。この「地域科」の導入により, 地域の人との交流が生まれ, コミュニケーションの能力が高まり, 「会話科」のねらいも達成でき, 不登校児童生徒の減少や, 中1ギャップの解消が見込めるのではないかと考えられます。

以上で私たちの提案を終わりにします。よろしく申し上げます。

## 17番 平山泰士議員, 20番 恒屋梢海議員

17番, 若松原中学校の平山泰士です。

20番, 宇都宮海星女子学院中学校の恒屋梢海です。

私たちは, 本市で行われている地域教育について調べました。すると, 小学校を単位として「宮っ子ステーション」という地域交流活動を行っているということを知りました。活動例としては, 放課後に, 地域の大人の方が子どもたちにお手玉や竹馬などを教えるといった活動があるとのこと。しかし, 参加しているのは小学生や地域の大人の方が中心で, 中高生にいたっては存在すら知らないのが現状です。

そこで, 私たちは以下のことを提案します。

小学生を指導する立場としては, 地域の大人の方だけでなく, 私たち中高生の力も必要とされています。そこで中高生が地域教育に関心を持って参加できるようにするために, 活動内容の企画段階から参加できるような仕組みを作ってはどうでしょうか。これにより中高生は積極的に地域における様々な教育活動に関わるようになり, 地域の方と一体となって活動をすることができるように

なるのではないかと思います。

また、宮っ子ステーションのほかには地域で行われている様々な活動についてですが、現在、各自治会や子ども会、体育協会等で地域交流活動が行われており、回覧板やホームページ等で行事の案内はされていますが、中高生には認知されず、参加者も少ないそうです。そこで認知度を高めるために、市内在住及び市内の学校に通学している中高生向けの掲示板を市のホームページに設立するのはどうでしょうか。具体的には中高生同士が自由に語らうことができ、学校行事などの情報や地域の情報を共有できる場を設けるといことです。情報を共有することによって、自治会などの地域交流活動の情報をより簡単に、より多く得ることができるようになり、活動への参加者も増えるのではないかと考えられます。また、それを利用して中高生にアンケートを実施し、中高生の意見を取り入れた活動を行うこともできます。ネット社会の現代においてそれを最大限に利用しない手はありません。

これら2つの提案によって若者の間での地域交流活動に対する関心が高まり、活動への積極的な参加が生まれて、地域における人と人の結びつきがより一層深まると思います。

以上で提案を終わりにします。よろしくお願いいたします。

### **佐藤栄一宇都宮市長**

議長、市長

### **古滝明音議長**

市長

〔佐藤栄一宇都宮市長 登壇〕

### **佐藤栄一宇都宮市長**

本市が進めている小中一貫教育について、竹澤議員、高橋議員より、児童生徒の立場に立った新しい視点からの御提案をいただき、大変感心いたしました。

それでは竹澤議員、高橋議員の御質問にお答えいたします。

まず、「小中一貫教育制度の周知・啓発について」であります。宇都宮市で実施する小中一貫教育は、学習や生活の中での皆さん一人ひとりの頑張りがしっかりと実を結び、生きて働く知力や豊かな人間性、健康・体力など大切な学力として確実に身に付けられるようにするものであり、平成24年度からの市内すべての小・中学校での実施に先立ち、来年度から23の小・中学校がモデル校として実施する予定です。

小中一貫教育が始まると、これまでは小学校と中学校それぞれが授業の計画を立てて行っていましたが、これからは、義務教育9年間を一まとまりとしてとらえて皆さんの成長に合った授業の内容や指導の方法を工夫することにより、より分かりやすく、学習してよかったと思えるような授業を展開します。

また、小学校に中学校の先生が教えにいくなど先生方の交流や、小学生が中学校を訪問して、中学生から学校の様子を聞くなどの児童生徒の交流も盛んに行われるようになり、小学生が安心して中学校に進学できるようになります。

さらに、今後、地域の高校や様々な機関との一層の連携を深め、皆さんの夢や目標の実現に向け、力強く社会に羽ばたくことを応援します。

このようなことが効果をあげるためには、先生、保護者、地域の皆様の努力や私たち行政による取組も大切ですが、皆さん自身が一生懸命学習や運動に取り組むとともに、人を思いやりながら行動することなど、小・中学生自らの意欲的な実践が何よりも重要であります。

こうしたことから、竹澤議員、高橋議員御提案の小中一貫教育についての小中学生用の説明資料の作成は、とても意味のあることと考えており、年内には、児童生徒の学年に応じた分かりやすい資料を作成して各学校に配布し、校長先生や担任の先生による説明会により、皆さんが小中一貫教育の目的や内容について十分理解できるようにしてまいります。

次に、「『地域科』の導入について」であります。本市においては、一人一人の子どもたちが、今後の社会で生きて働く力をはぐくみ、実践的な能力や態度を身に付けることが何よりも重要であると考えており、平成24年度からの小中一貫教育の全市実施におきましては、学校と地域がこれまで以上に関係を深めて、広い範囲で交流を行う地域学校園を展開してまいります。

こうしたことから、議員御提案の「地域科」につきましては、新たな教科として導入するのではなく、地域学校園を展開していく中で、ご提案の趣旨を生かせるよう地域の方々との交流を深めながら、地域の自然に思う存分ふれる活動や郷土の伝統や文化に親しむ機会の充実を図り、皆さんのコミュニケーション能力と地域への愛着をさらに高められるようにするとともに、子どもと大人が心を通い合わせ、共に地域を大切にできるようにしてまいります。

次に、恒屋議員、平山議員の御質問にお答えいたします。

まず、「宮っ子ステーション事業への中高生の参画」についてであります。本市におきましては、すべての児童の放課後の健やかな育成を図るため、地域の皆さんが主体となって、勉強やスポーツ、文化活動、交流活動などの様々な活動に取り組みながら、地域の大人や子ども同士のふれあいを通して地域全体で子どもを育む「宮っ子ステーション」事業を展開しているところであります。

議員御提案の「中高生の事業への参画」につきましては、地域の教育力の向上に向け、大変意義のあることであり、更には、中高生と地域をつなぐきっかけとなることから、地域コミュニティの形成においてもとてもすばらしいアイデアであると感心いたしました。

また、この宮っ子ステーション事業に児童の身近な模範となる中高生が参画することにより、規範意識の向上や、社会性を身につけるきっかけとなるとともに中高生自身にとりましても地域社会の一員として活動する契機となり、社会的自立を促すなどの様々な効果が期待できると考えております。

こうしたことから、早速、多くの中高生のみなさんが参加でき、若さや情熱、感性、パワーなどを生かした企画や活動ができるような仕組みをつくってまいります。

次に、「中高生向け掲示板の設立について」であります。将来地域を支えていく若い皆さんが、地域の活動などに興味を持ち、今回の提案をしていただいたことにつきまして非常に心強く思っております。

議員御提案の中高生向け電子掲示板の設立につきましては、情報ネットワーク社会の中では、書き込みのチェックや個人情報の管理などの問題がありますが、インターネットを活用して情報を共有することは、地域とのつながりをさらに深め人と人との交流の輪を広げるために有効な方法であ

ると考えております。

このようなことから、ホームページの中にジュニア議員の皆さんからいただく市への提案やボランティア募集の案内、市の行政情報など、中高生に積極的に情報発信していけるような方法につきまして検討してまいります。

議員の皆様には、宇都宮市が「輝く希望と笑顔にあふれたみんなが幸せに暮らせるまち」となりますよう今後も、地域の活動に積極的に参加していただきますようお願いいたします。

#### **古滝明音議長**

以上で、愛・うつのみや部会の質問を終了します。